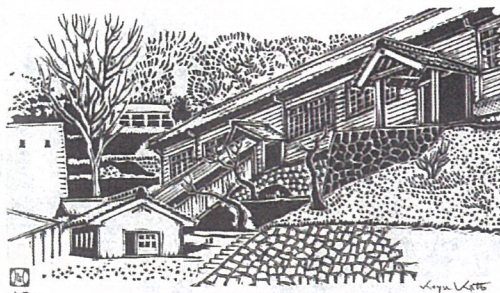




自分の生き方の礎となる「心の原風景」

校長 三輪 太雄



「母校」という言葉の響きが好きです。「母校」という言葉を聞くと、心と少年時代や青年時代の頃の思いがよみがえり、映画のワッソーのように、その頃の映像が浮かんできます。そして、その頃見た景色や光景が、その頃培われた感性が、現在の自分の生き方の基盤の一部になっていることに気付くことがあります。

「飯地中学校」は、平成8年度をもって閉校し、形は残っていません。しかし、飯地中学校で仲間・先輩・後輩・先生…と共に見た景色や光景、共に味わった喜怒哀楽は、多くの皆さんの“心の原風景”として、心の中で今も生き続けているものだと思います。（※現在の飯地小学校保護者10人の方々の飯地中3年生当時の写真です。さて、誰のお父さんでしょうか？）

飯地中学校閉校記念誌『花も実もある人』は、飯地地域の多くの皆様の家庭で保存され、同窓会や仲のよい方の集まり等の折りに、当時を懐かしんで、ページをめくられることもあるかと思います。私も、飯地小に赴任した当時から、何回ともなく、この記念誌を開いては貴重な写真に魅せられたり、味わい深い文章に読みいったりしてきました。現在、飯地小学校の保護者でもある男性の方が、「飯地中学校の思い出」と題して、このように書き綴ってみえます。



僕が中学校生活で思い出深いことと言えば、まず第一に、椎茸栽培がある。自分たちで木を伐りだすところから、菌打ち作業、その後の手入れまで、全校生徒と先生たちで力を合わせ、ときには雑談しながらの作業は、とても疲れたけれど、ふだんではめったに体験できないことなので楽しかった。

もう一つは、三年間一番頑張った部活動だ。とにかく朝早く学校へ行って練習をした。授業が終わると、部活動終了の時間も忘れて練習に熱中した。1年から3年まで、それほど上下関係がなく、いっしょに練習し、お互いに競い合った。自分たちで考えた練習はとても楽しく、毎日、部活動のために学校へ通っていたと言ってもいいくらいだ。

担任の先生だけでなく、どの先生とも仲がよく、相談や質問が気軽にできた。そのおかげで授業は楽しく受けられたし、部活やクラブやその他の活動もたいへん楽しかった。その影響もあって、僕は先生になりたいと思うようになった。雨漏りがしたり、廊下等年期が入っていたり、とても古い校舎だけど、全校合唱や体育祭等の行事や日々のほんのちょっとしたことで、思い出がいっぱい詰まっている。

現在の飯地小学校と同じく、この頃の飯地中学校でも「少人数だからこそできる教育」を目指して、家庭的な雰囲気、温かい教育がなされていました。そんな温かく楽しい学校生活が心の原風景となり、この方は「先生になりたい」という夢をごく自然に育んでいかれたのだと思います。

今後も、子どもたちのために、生き方の礎の一部となる“飯地ならではの心の原風景”を、家庭と地域と学校が、よりよく手を携えて創りだしていきたくて願います。そして、子どもたちが、飯地中学校から引き継がれた校歌の歌詞♪「教えのままだに勤しみて 心を磨き身を鍛え 花も実もある人となり 里の栄えを助けまし」のような立派な大人に成長していくことを心から願って、少人数・複式校ならではの教育活動に、今後も力を入れていきます。

○大縄大会 2月4日



第1位 808回 (新記録)
第2位 768回 (新記録)
第3位 729回

高学年がやさしく、
厳しく低学年を指導
し、練習を重ねてきた

結果、みんなが笑顔になれる素晴らしい大会になりました。うまく跳べない子がいたり、やる気を出せない子がいたり、様々な困難もリーダーたちはあきらめずに乗り越えました。

○命の授業「心と体の成長」2月9日



中学年(3, 4年生)、高学年(5, 6年生)が、保健の授業として、恵那保健所から講師を招いて学習しました。いろいろな重さの赤ちゃん人形をドキドキしながら抱いてみたり、自分の生まれたときの写真をもとに発表したりして、命の大切さを理解しました。特に思春期の高学年では、誰もが同じようなことに悩むこともわかり、すっきりすることができた子もいました。

○まんさく訪問 2月18日



1, 2年生が生活科の学習として、「まんさく」を訪問させていただきました。美文字や百ます計算で頑張る姿をたくさんほめていただき、子どもたちの自信となりました。7人の児童がそれぞれに楽しくひとときを過ごせて、身近な人々との有意義な交流ができました。

○授業参観 2月20日



1, 2年生は実演を通して「道徳」の授業、未就学の弟妹たちと一緒に学びました。3, 4年生は、「進路学習」として、子どもに人気の職業クイズや夢について発表し、4年生は保護者からの手紙をもらいました。5年生は、「国語」の学習を児童2名と教師でじっくりやりました。6年生は、「算数」。保護者参加型で、百ます計算から始まりメビウスの輪の不思議について学んでいました。(前夜に百ます計算の練習をしていただいたお父さん、ありがとうございました。)

どの学年も保護者の皆さんの協力で小規模校のよさを生かした学習となっていました。

○家庭教育学級 (情報モラル講演会)



演題:『子どもを守るIT環境の理解と実践』
東濃教育事務所、酒井統康課長補佐を講師にお招きし、保護者対象の講演会を行いました。3DS, i-Padを使って、「できること」を教えてください、保護者も教員もビックリすることがたくさんありました。子どもにはさせたくないゲームやネット接続などの制限のかけ方を体験しました。子どもを被害者にも加害者にもさせないよう守るために、おとなも一生懸命学習しました。

行事予定

<3月>

4日(金) 6年生を送る会
学校評議員会

24日(木) 卒業式

25日(金) 修了式、離任式

◇表彰のお知らせ

☆おめでとうございます。

第12回広重賞恵那市

こども版画コンクール

奨励賞	6年男子	
入選	1年男子	2年男子
	4年女子	6年男子